



~建築は、建てることより育てること~

MIZUNO "旬感"だより

vol.187

令和4年9月号

シュウ・あき・とき

秋

実り・大切なとき
過ぎゆく時間

9月は防災月間です。地域の皆様のために毎月備蓄している“ミズノストック”はもうすぐ15年になります。

今月の言葉

荒れ果てた米沢藩の再興。
改革に必要な指導者の心得 ~その巻~
『理想の礎を築いた人』

白駒妃登美著“感動する！日本史 日本人は逆境をどう生きたか”より

幕末から明治にかけて、鎖国の眠りを覚ました日本に多くの欧米人が訪れました。その一人、イギリスの女流旅行家イザベラ・バードは、明治十一(1878)年に日本を訪れ、東北・北海道・関西の各地を旅行しました。

彼女は、日本の至るところで、風景の美しさ、女性が一人旅できるほどの治安の良さ、そして親切で勤勉な人々に感動していますが、彼女の筆致が最も冴えわたったのは、米沢(現在の山形県南部)を訪れた時です。彼女は、米沢の町とその郊外にある赤湯温泉を「エデンの園」と呼び、「アジアのアルカディア(桃源郷)」という最大級の賛辞を送ったのです。

ところが、彼女が旅した日から、さかのぼることおよそ百年。

名門・上杉家の治める米沢藩は、多額の借財を抱え、領民が重税にあえいで夜逃げをするほど荒れた貧しい土地であり、「桃源郷」というイメージからかけ離れていました。

その米沢藩の奇跡の復興を演出したのは、九代藩主・上杉治憲(鷹山)です。彼は江戸時代屈指の名君として知られ、的確な経済政策と心の教育で、破綻寸前だった米沢藩の財政を見事に立ち直らせた。

地域に生かされ育てられた感謝のお返しも兼ねて2008年1月から始めた“ミズノストック”は、この上杉鷹山の考えを元に始めました。琴線に触れた彼のエピソードを、来月からいくつかご紹介したいと思います。



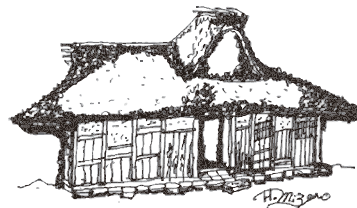
one step a day
一日一歩

水野博旨

空間設計 ミズノ のデザイン記録 vol.65



金沢市にある谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館に行ってきました。著名な建築家である2人(親子です)を記念し、お父さんである吉郎の住まい跡地に息子である吉生が設計し建設されました。2019年に開館し、吉郎氏設計の迎賓館赤坂離宮和風別館「游心亭」が常設展示されています。吉郎氏は文化財の保存にも尽力し、犬山市にある明治村の創設に携わり、初代館長に就任。吉生氏は豊田市美術館を設計しており、愛知県人にとっても親しみのある方々です。金沢にお越しの際は、立ち寄ってみてください。
文・スケッチ：水野真宏



伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

江戸時代は「花形三職」と呼ばれた“大工・左官・簗”。その中でも大工は人気ナンバー1。しかし、一人前になるには過酷な下積み生活が…!



◆小学校を卒業した12~13歳ぐらいで親方に弟子入りするのですが、見習いの期間は給料をもらえません。朝は親方の家の掃き掃除から始まり、炊焚き、風呂焚きなど雑用で一日が終わります。このような下働きを1~2年経て、ようやく現場に連れていってもらえます。しかし、初めは木くずを拾ったり、材木を運んだり…大工道具には触らせてもらえず、まず道具の名前を教わる場所から始まります。

◆20歳を過ぎた頃の8年目ぐらいでやっと半人前といわれ、それまではタダ働きだったのが、ようやく祭りの時期に親方から小遣いをもらい天にも昇るような喜びだったのだとか。その後、少しずつ大工仕事を教わり、親方に一人前と認められ独立できるまでは弟子入りから10年以上経った頃だったようです。

◆弟子入りしても半分以上が途中で辞めてしまった大工修行。一人前になった頃には自信と誇りに満ち溢れていたでしょうね。江戸の町は火事が多かったため、大工は引っぱりだこ。雨や雪の日は仕事ができないこともありましたが、一日の実質労働時間4~5時間で収入は当時の平均の約2倍あったようなので、憧れの職業であったのも納得です。

※家庭の防災グッズも点検して下さいね。

今月は“防災月間”



【現在のミズノストック】(2022.9月現在)

- ・タオル ・マスク ・靴下 ・軍手
- ・紙皿 ・紙コップ ・簡易トイレ
- ・LEDランタン ・歯磨きセット
- ・石鹸 ・トイレトペーパー
- ・ウォータータンク 5L/10L
- ・エマージェンシーマット
- ・エマージェンシーブランケット
- ・非常用保温アルミシート
- ・スリッパ ・割りばし ・飲料水
- ・乾パン ・ビスケット ・パン
- ・野菜ジュース

万が一、災害が起きた時に地域の皆様のお役に立ちたいと思います。毎月少しずつ地域に備蓄しています。

株式会社 ミズノ
ホームページ

新ホームページもご覧ください。

mizuno1950

で、検索
又は→



空間設計 ミズノ
ホームページ

www.mizuno-architects.com



— ご相談やお問い合わせはこちらへ —

さわやかなすまいに

0120-387-312

mizuno@mizuno1950.co.jp



— 建築は、建てることより育てること —

一級建築士事務所

株式会社 ミズノ 空間設計 ミズノ

昼と夜の長さが同じになる秋分の日(9月23日)を境に少しずつ夜が長くなります。秋の夜長、何を乐しみますか？

秋の味覚を味わう前に
“秋”の成り立ちを知る

秋はその先1年分の大切な食料である稲など穀物が実る季節です。つまり万物が成熟する大事な時であることから“秋”には“大切な時、重要な時期”という意味もあります。しかし、なぜ秋という字は“禾+火”でできているのでしょうか？
禾=穀物です。昔は農薬がないので、無事に収穫するまで虫との闘いだったのです。たわわに実をつけた稲穂をなんとしても虫から守らなければなりません。そのために火を焚いて追っ払うことが秋の重要な行事だったことから、火の文字が使われたといわれています。
心込められて作られた秋の実り。作られた方に思いを馳せながら味わいたいです。



一冊を読み深める
スローリーディングのすすめ

本屋さんに立ち寄り、数多くの本を目の前にすると、なんとなく速くたくさん読みたくなってしまいますが、これからの季節、秋の夜長には“スローリーディング=ゆっくりじっくり読む”のもおすすめです。
何年か前に話題になった灘高校の国語の授業がまさにコレです。3年間で1冊の本を、1週間に1ページ程度のペースで調べて、考えて、想像して読み深めたのだそうです。この授業でどんな教科にも必要な国語力が上がったことが誰もが知る進学校になった要因の一つといわれます。
集中力や思考力アップ、ストレスの軽減、聞く力にも効果的だそうです。ぜひ“この秋の一冊”を選んで読み深めてみてください！



春は食べて、秋は見て
楽しむ♪秋の七草

万葉集で山上憶良が秋の七草を楽しむ二首の歌を詠んでいます。

『秋の野に 咲きたる花を 指折り
かき数ふれば 七種の花』
『萩の花 尾花葛花 なでしこの花
女郎花 また藤袴 朝顔の花』
(はぎのはな おばなくずはな なでしこのはな
おみなえし またふじばかま あさがおのはな)
※尾花=ススキ、朝顔=キキョウ



秋が深まるにつれ開花する秋の七草。初めの“萩”は秋の字が用いられるほど、秋の花として昔からなじみ深いのでしょうか。昼は秋の七草を探しに散策、夜はそれをスケッチする…なんて楽しみ方はいかがですか？

第68回ミズノメセナイイベントのご案内

待ち焦がれた音楽イベント
2年ぶりに開催します！

さかいみさき さかきばらさちこ
坂井美咲 & 榊原祐子

ピアノ連弾コンサート

2022.11月19日(土曜日)

18時開場・受付 / 18時30分開演
(20時00分頃終了予定)

- 場所：株式会社ミズノ1階ヴィレポヌール
(名古屋市中区七番町)
※地下鉄 東海通駅1番出口より徒歩3分
- 参加費：1000円 (中学生以下無料)



3年ぶりに榊原祐子さんをお招きします。
一足早く年末に向けて、
“ベートーベン第九「合唱」”
をメインにお楽しみいただきます。

▼お問合せ・お申込みはこちらのお電話・FAX・メールへ。

TEL:052-652-6886

FAX:052-661-0653

Mail:mizuno@mizuno1950.co.jp →



※お名前・ご住所・ご連絡先・参加人数をお知らせ下さい。

七十二候 9/23 ~ 9/27 頃

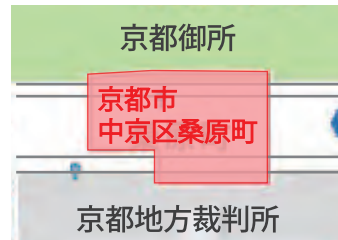
かみなりすなわちこえをおさむ

『雷乃収声』

“夏の間、夕立を伴いゴロゴロと
鳴り響いていた雷がおさまる頃”

雷乃収声は秋分の日から始まります。その前後3日間を合わせた7日間が秋のお彼岸です。“暑さ寒さも彼岸まで”の言葉どおり爽やかな風に秋を感じる頃です。空の様子も夏とは異なり、突然の雷雨を発生させるモコモコした入道雲の代わりに、鱗雲やいわし雲が広がります。ポーッと空を眺めていたくなりますね。

今は死語？かもしれないですが、怖いことや嫌なことを避けたい時に“くわばらくわばら”なんて唱えました。元々は雷の災難から逃れるため、桑原という京都の地名からきています。その桑原町には菅原道真が住んでいて、この土地には雷が落ちなかった恩恵からこの呪文が生まれたようです。現在の桑原町、なんと京都御所と京都地方裁判所の間にある道路の一角なのです。区画整理と共に消滅の危機もありましたがこの語源となっていることで残されています。まさに“くわばらくわばら”ですね。



9/20は“空の日”

1911年のこの日に、国産の飛行機が東京上空一周飛行に成功しました。あたり前の様に飛行機が飛び交う日々ですが、今から111年前に初めてとは驚きです。

相談無料 完全予約制
コロナ禍でお休みしていた、建築士と暮らしを考える
お茶の間相談会、再開しています!!

新築? リフォーム?
リノベーション?

~「どうしたらいいだろう?」にお応えします~

まず、お電話又はメールにてご連絡下さい。

- ◆夜間で希望の方はご相談下さい。
- ◆お子様連れでも大丈夫です。
- ◆施工事例などはHPでご覧下さい。→



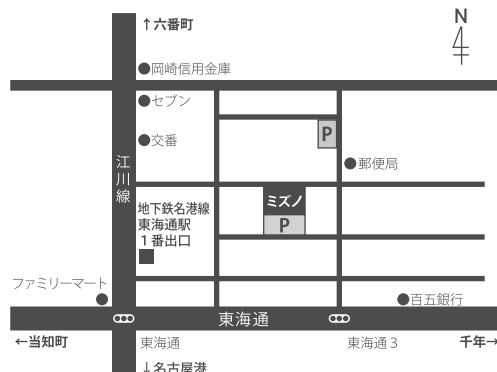
建築業72年以上の
経験を活かしてご相談
させていただきます。
この機会にお声掛け
下さい!



住宅・店舗の設計・施工・監理
株式会社 ミズノ

〒455-0001
名古屋市港区七番町5丁目3番地
TEL:052-652-6886
FAX:052-661-0653
Web:www.mizuno1950.co.jp
Mail:mizuno@mizuno1950.co.jp

☎ 0120-387-312



・駐車場は社屋南側と郵便局側にございます。
・市営地下鉄「東海通駅」下車、1番出口より徒歩3分

一級建築士事務所
空間設計 ミズノ

〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10-3
名古屋陶磁器会館2階204号室
TEL:052-982-8316
FAX:052-982-8357
Web:www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計
コンバージョン(用途変更)・など



・最寄の駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)
・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停